

ぱんだろぼはうすが できるまで

Record of making Panda Robo House

By PP Panda

～ごあいさつ～

みなさんこんばんは。PP ぱんだ（びびぱん）です。日々新しいワールドができる cluster。でも、以前にできたワールドにも
すてきなものが沢山あります。ご多分にもれず、我らが「ぱんだろぼはうす」も新しくできるワールドに埋もれつつあります。
しかし、びびぱんにとって「ぱんだろぼはうす」は、おとなになって初めてタイトルをとれた、思い入れ深い作品です。
今年一番の出来事かもしれない。そんなわけで、びびぱん自ら「ぱんだろぼはうす」をでいぐってみたいと思います！

※注意事項

以前でいぐでいぐでいぐらの記事を書いた時は、公式さんからの依頼だったため、ちょっとよそ行きの文章で書いてます。

このレポートではびびぱんの中の人の心の声がダダ漏れになっていることもあります。

お見苦しいとは思いますが、ご理解の程お願い申し上げます。

なお、以前のことを思い出しながら書いているため、時系列など曖昧なところがあるかもしれません。

内容も怪しいところがあるかもです。そんな箇所を見つけたら生ぬるく見守ってけると幸いです。



3/5

ことのはじまり

ことのはじまりは、言わずとしれた「新世界メタバースTV」の「メタバース一軒家コンテスト」の
作品募集を見つけたとき。びびぱんはそれまで、お気楽に cluster で遊ぶばかりで、
ワールドを作ろうなんて考えたことなかった。でも、建築のお仕事をしているので
「一軒家だったら、なにかびびぱんでもできるかな？」と考えてみた。
けばと「どーする？なんか作ってみる？」とゆるーく話してみた。
びびぱん、理想のお家についていろいろ考えてみる。



どんなおうちにしようかかんがえるけびび

3月中旬の週末

ざせつ

ラジオ体操のあとにワイさんが「メタバース一軒家コンテスト用のワールド
作ったんです。みんなで遊びにいきませんか？」と誘ってくれたので
遊びにいってみた。そこは雲の上にあるとっても素敵なおうち。
びびぱんも理想のお家について色々考えていたけど、このお家を見て
負けた…っておもった。土の上に家を建てようと考えている時点で
若い人の柔軟な発想に勝てないって思ってしまった。
その後こういった自由で素敵なアイデアが自分に降ってくイメージが
ぜんぜんわかなかった。仕事として建築に関わってることが
現実っていう足かせになってる気がして創作意欲がしおしおと
かれてしまう。

この頃、会社の仲のいい人にもコンテストのことは話してたけど、
「いや～やっぱり若い人の発想にはかないませんね～。

おりっぱいな～。」と弱気発言を繰り返していた。



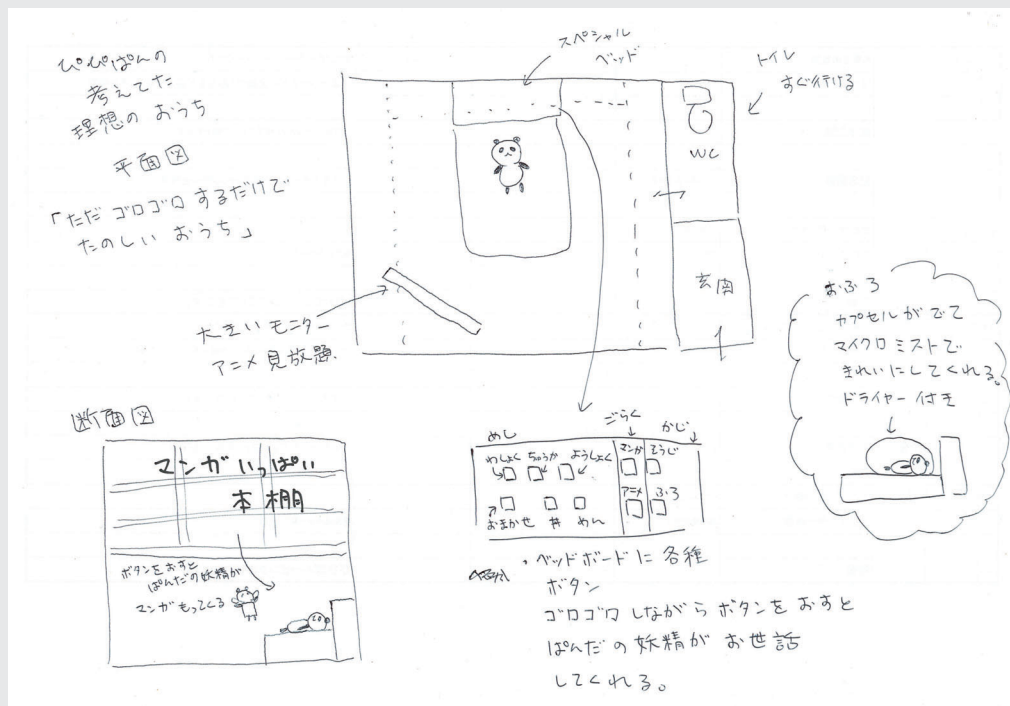
わかもののじゆうなはっそうにまけた。。。



ワイさんの実際のワールドのお写真。
とってもユメがあってステキなワールド。
みんなでくもの上でふわふわ遊んだよ。

そんなわけでヘタレぴびはんは何も作らないうちから勝手に負けた気分になって、この時期、特に何も作らずに過ごしました。
これではまったく記事にならないため、ぴびはんがほんのり考えていた理想のお家のメモ描きをつけてみます。
これを見たらお分かりだと思うのですが、ぴびはんの中の人は、なかなかのレベルの**ダメ人間**です。

夢は宝くじで大金あてて、働かずにごろごろマンガを読んだり、アニメをみたり、ゲームして過ごすことです♡



あれは～、忘れもしない～、4月30日、日曜の～夜の出来事じゃった～（日本昔ばなし風の声とテンションでよんでみてね）

4/29,30のGW前半戦、ぴびはんは急情の限りをつくして快適にすごしておりました。

4月30日、日曜の夜、よく行く近所の居酒屋で酒を飲みつつご飯を食べてたとき、おもむろにけばんだが、「メタバースー軒家コンテストどうする？」って聞いてきた。ぴび「いや～今それ手をだしたら、GWはデスマやで～。別に作んなくても

死ぬわけじゃないし無理しなくていいんじゃない？」←急情なぴびはん

けば「ハ○ルの動く城」みたいに、ロボットに住めたらおもしろいと思ったんだけど。。」

けばんだのその一言がきっかけで、ぴびはんの中のスイッチが「カチツ」って入った

音をきいた。目の中がきっとキラキラ★ってしたと思う。（見てないけど）

なんてったって我がS世代にとって、巨大ロボ操縦は夢！キラコンテンツ！

そこからは飲みながらアイデアラッシュの嵐！！

「操縦はぜったいしたいよね！」「目からビームははずせない！」「ミサイル出したい！！」

居酒屋の店主オルさんは急に二人のテンションが変わってさぞ驚いたでしょう。

いい大人2人がいきなり、ビームやらミサイルやらのっぴきならないことを言い出したのですから。。。

しかし、忘れちゃいけません！

ぴびはんは5月1～2日はふつ～にカレンダー通り会社に行くのです。

残り時間はあとわずか。でも、このときには迷いはなかった。

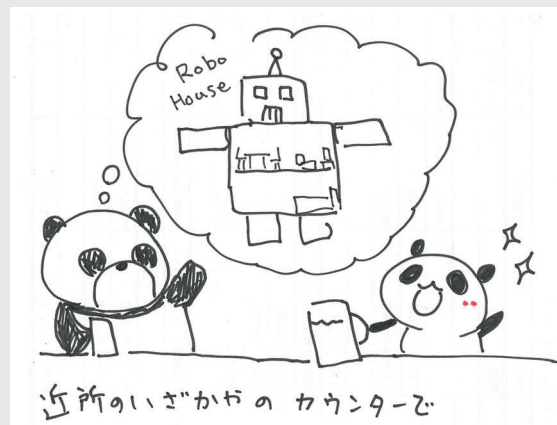
GWのごろごろ計画やコンテストでの勝ち負けはどっかにいっちゃってて、

ただただ、作りたいって気持ちであふれてた。

こちら元ブラック企業のプレイングマネージャー、デスマ耐性は持ち合わせてる。

何とかなる！ってゆうか何とかする！ばんだろぼはうす作る！！

ここから、けばぴび2匹の「ばんだろぼはうすプロジェクト」が本格始動したのです。



「ろぼはうす」構想にテンションばく上がりのぴびはん



今年のTGSから帰ったときにも寄った長年お世話になっている居酒屋さん
いつもおいしいごはん楽しい時間を提供してくれます。

5/1~5/2 かいしゃにて

そんなわけで短時間でコンテスト作品を作るために、まずは けぱびぴの役割分担を明確にした。プラン、デザイン、モデリングを主にびびぱんが担当して、ギミックや仕上げなどの作業をけぱが担当した。

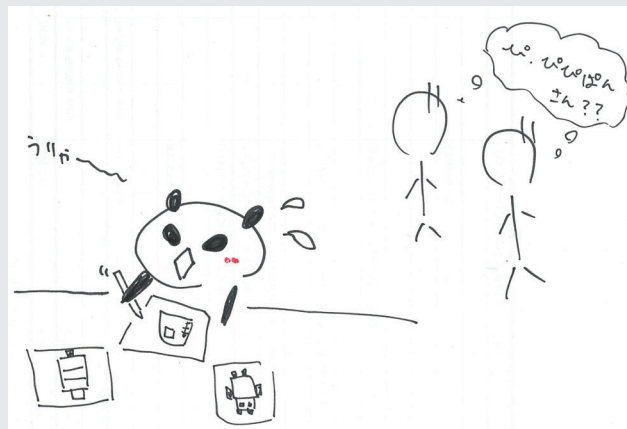
びびぱんが会社に行っている間、けぱが先行してギミック絡みの作業をすすめてくれた。

そして、今あるものを最大限に使って時短することも決めた！

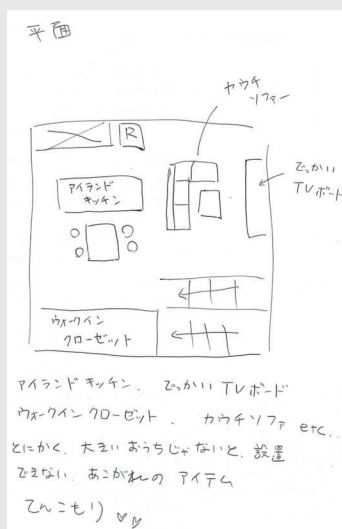
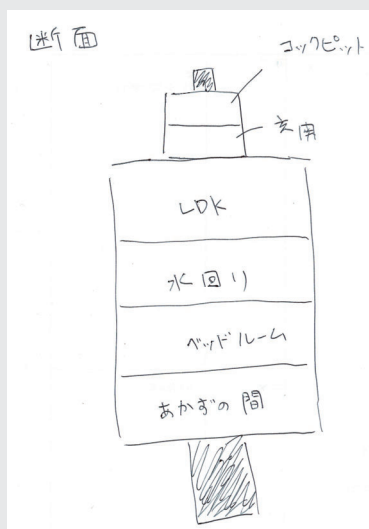
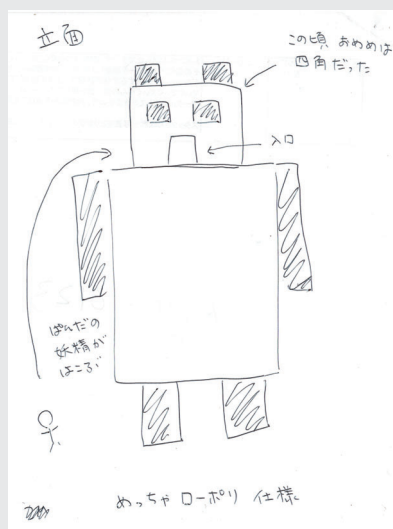
この2日間びびぱんは社内通常業務に勤しんでたわけだけど、頭の中は「ばんだろぼはうす」のことばかり考えてた。

勤務して、昼休憩に飯を流し込み、けぱとイメージを共有するためのアイデアのメモ書きを大量生産していた。

いつもスマホいじったり、昼寝したりダラダラ過ごしてるのに、狂ったように大量の怪しい落書きを描きながらびびぱんをみて、他の社員はきっと怖かっただろうなあ…



昼休憩に怪しい落書きを大量生産するびびぱん



アイランドキッチン、キッチン、リビング、ベッド、トイレ、バス、玄関、TVポット、エアコン、クローゼット、etc...
とにかく、大まかいうちじゃないと、設置できない。あかぎのアイテム
てんこもり

こんな感じで昼休みに作ったアイデアラッシュ。
会社のコピー用紙の裏紙にボールペンで描きながら。雑でもいいからまずはイメージを共有することが重要とびびぱんは考えた。

5/3~5 ほんかくさきょう

GW 後半戦、ここからが本格的にけぱとの共同作業に入ります。まずはやっぱり大物を固めないでね。

空間自体のモデリング、キッチンやソファ、ベッドなどの大物設備、家具を作って、出来たらけばんだにパスするという流れ作業を開始。

びびぱんがフルスクラッチにこだわったのは理由があるのです。もちろんばんだ要素を全開にしたいので、そのようなアセットが無いってこともあったけど、導線やモノのサイズ感にこだわりのあったので。(お陰で連日就寝が深夜3:00とか4:00になった。)

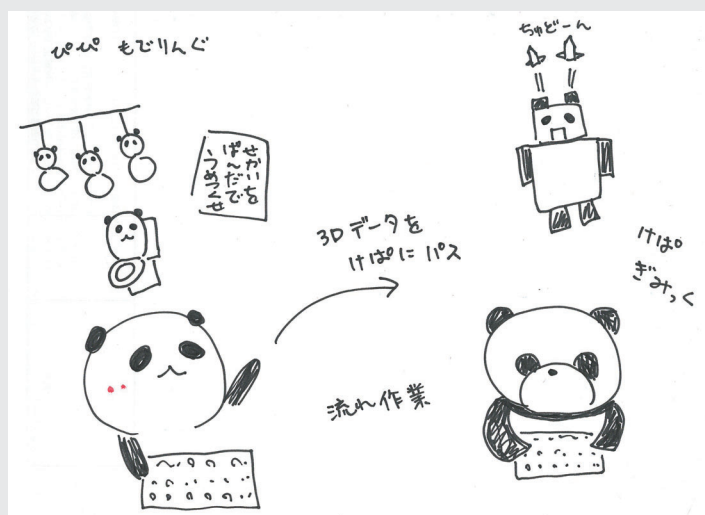
メタパスといえど、あくまでもお家を作るので、そこにいる人にくつろいで欲しかった。安らぎを大事にしたかった。小さくても違和感を産まないように、高さ関係や動線の通路幅や階段の収まり検討し、住宅設備にいたっては、メーカーさんの技術資料を参考にしてモデリングした。

まあ、その辺のこだわりはテレビでは
いっさい触れられなかったんですけどねwww

ちょっと失敗したのが天井高。開かずの間（機械室）をどうしても入れたかったので普通の住宅の天井高よりちょっと低めの2300mm。「まあ、少し低いかもだけど、和室や古い中古住宅でこれくらいは実際あるし、大丈夫でしょう。」って思ったのですが、

cluster 民のジャンプ力半端ない。
世界レベルのバスケット選手なみに跳ぶ！！

お陰様で(?)頭が天井を貫通する人が沢山生まれました。
ほんとスマセン・・・。



実際の作業の様子。お互い睡眠不足だけど楽しかった。

弊社は土曜日でも交代出勤があって、5/6の土曜日はぴびぱん出勤日だった…。会社の同じフロアにいたのは同じ課の後輩ちゃんのみ。その後輩ちゃんが翌週に打ち合わせに行くための資料作りを5月に入っていっしょにやっていたのだけど、明日がコンテストの締め切日。「あれも作りたい」「これも作りたい」と気もそぞろでまったく仕事の手につかないぴびぱん。どうしよう。。

ぴびぱん「後輩ちゃん、折り入って相談があるんだけど…」

後輩ちゃん「どうかされましたか??」

ぴびぱん「今コンテストに出すメタバースの作品を作ってるんだけど、明日が締め切りなんだよね。。。」「

後輩ちゃん「はあ…」

ぴびぱん「グランプリの賞金、50万やねん。」

後輩ちゃん「!!!」

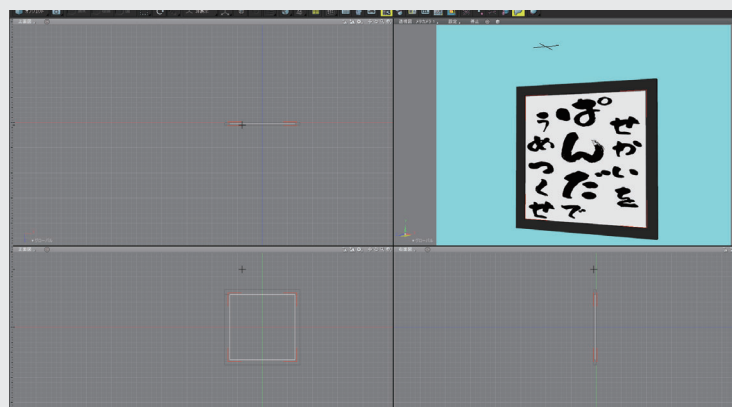
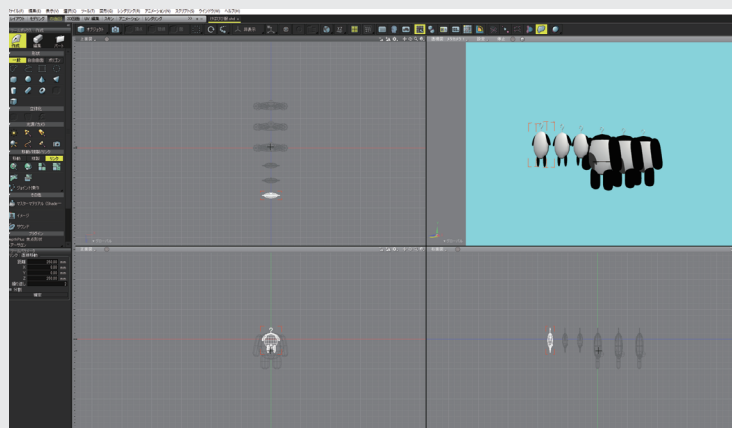
ぴびぱん「来週から死ぬ気で働く！
グランプリ取ったら叙〇苑奢る！
だから今日は、ぱんだ作らせて!!」

後輩ちゃん「そんなぱんだの方が
大事やないですか！
ぱんだ作ってください!!」

いや～¥50万の威力でかいな～ww

そんなわけで、理解ある後輩ちゃんのお陰で勤務時間中にぱんだアイテムを作りまくるぴびぱん。後輩ちゃんはコツコツと作図作業をしていたのだが、たまに覗きに来てぴびぱんが作るアイテムを笑いながら見ていた。ひたすらぱんだアイテムやテクスチャーを作りまくっていたのだけど、とくに後輩ちゃんが大爆笑したモデリングデータはこちらの2点。

みんなはこんな大人になっちゃダメだよ♡



後輩ちゃん大爆笑のモデリングデータ。これだけ見ると意味わからんw

コンテスト締め切り当日。泣いても笑っても今日が作業できる最終日。けばぴびのぱんだに対する愛と情熱と、理解ある会社の後輩ちゃんのお陰で、ほとんどワールドは出来上がっていたのだけど、この日にもっとも手がかかったのが、データ容量を25Mに抑える最終調整。

ぱんだろぼのデザインは四角だし、モデリングは結構カックカクでポリゴン数を削ってたし、沢山のぱんだ要素を諦めていた。

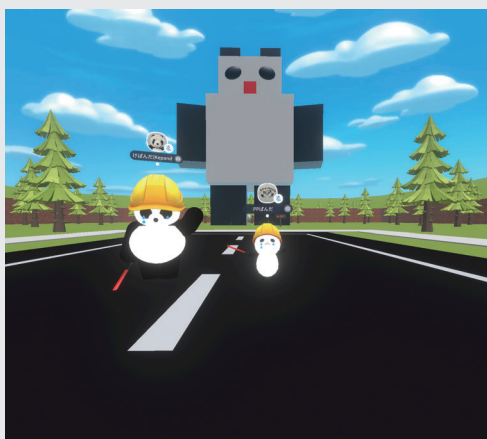
考えられることはやりきったつもりだけど、ほんのちょっと収まらない。26Mとか27Mくらいだったと思う。

あっちをけずる、すこし余裕がでた。じゃあ入れたかったこれを足す、または25Mをオーバー。

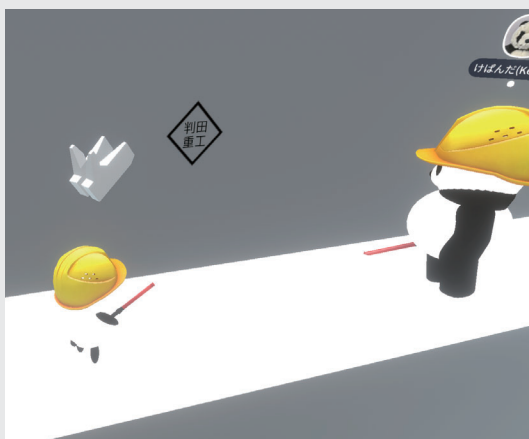
最終的に大幅に削ったのはBGMの音声データ。ステレオ音声だったのをモノラルに削っちゃいました。元々むかしのゲームを連想させるピコピコ音だったため、モノラルにしてもまったく違和感がなかったww ピコピコ音ばんざーい!!

あとは紹介文を考えまくって申し込み書類に不備がないか何回も何回もけばぴびで確認しまくった。

そして19:00頃、「きょだい ろぼな おうち」は提出されたのです。 ふい～やりきった!! いいワールドになった!! さあ飲みに行くぞ♪



「ぱんだろぼはうす」ついに完成!思わずほろりとするけばぴび



最終日の調整の際に追加した判田重工のロゴ。どうしても入れたかった。本当はもっとカッコイイのにしたかったなあ。



大人気スポット夢の札東風呂。「札東風呂は全人類の夢だ!」と、ぴびぱんが熱く語っても、けばんだは「?」って感じだった。ヤングジャ○ブとか読んでなかったみたい。最後のツメが甘く、札東が出っぱなしになって、よくフリーズするw 金に溺れるものは身を滅ぼす教訓が学べるワールドになった。

7/6 TVしゅうくよていび

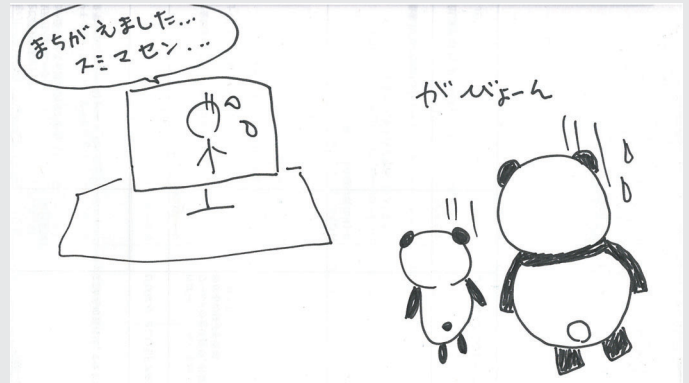
ちょっと空いて、この日はテレビ朝日の収録予定日。前もってけばんだに連絡があったので、上位10作品に入ってたのは以前より知っていた。もしグランプリになったら、けばびぴ地上波でびゅー★有給取って音声チェックやカメラチェックなどのリハーサルに動しむ。一通りの設定を済ませて、じっと結果をまつ時間。。。通信がきた！も、もしかして！？デレクターさんが一言

「お待たせしました！メタらいおんさんですか？」

けばんだ「ちがいます！けばんだです！！」

デレクターさん「…まちがえました。スミマセン…」

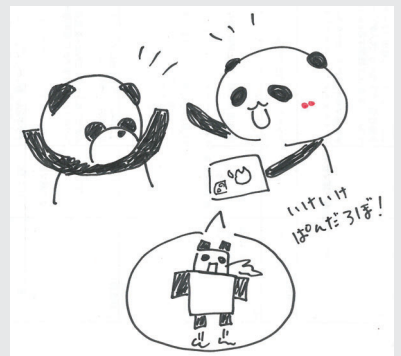
思わぬ形でグランプリが誰かを知ってしまった。。。今となってはいい思い出



※思わずTV放送前に結果を知ってしまったけばびぴ

7/16 TVほうそうび

この日はけばびぴはスキューバダイビングに行っていたので、海辺でスマホでTverを見ました。どちらにしても、けばびぴの住まいはメタバスTVは映らないので。無問題。海風を感じながらばんだろぼの勇姿を見届けた。スキューバ仲間もいっしょになって喜んでくれた♪審査員のみなさんがほんとに笑顔になってくれたのがめっちゃうれしかった。人を笑顔にするものを作ることができて、とっても誇りしかった！ふ〜。無事テレビ放送もすんだので、周りに自慢できるぞ！黙っとくのしんどかった〜。



ごじつたん

さーて、満を持しておおびらに自慢できるようになったびびばん。親族、会社の人、元同僚、学生時代の友人たちにもTV放送の動画データをリンク貼って連絡をしまくった。概ねみんなの反応。「？？よくわからないけど、おめでとう。。。」なまぬるい反応でしたww

中には本当に喜んでくれる人もいて、関東営業所の事務員さんはバーチャルぱんだ活動のことを何かと聞いてくれるようになりました。今回のメタバス路上ライブのテレビ放送も、びびばんがリアタイで見れないので、かわりに寝ぼけながらもリアタイで見届けてくれました。中国地区営業所の子は「ねいさん！あのばんだのトイレかわいすぎる！！LLOILに特注で作らせましょう！！」って言ってくれたけど、ばんだのトイレの使い所がわからないww お客さんに納品したらクビが飛ぶのではなからうか？

そして、びびばんが何よりも「わーお」って思ったこと。会社内での「誰かがやらかした。」という失敗談とか、「誰々と誰々が怪しい」という色恋沙汰の噂はあっと言う間に広がるのですが、びびばん受賞と地上波デビューはまったく広がらない…。人の榮譽ってゆうのはうわさのネタとして弱いらしい。人間の業を見せつけられたびびばんww

clusterでは沢山のフレンドさんやユーザーさんが遊びに来てくれてみんな楽しんでくれて、沢山お祝いの言葉を頂けてとっても嬉しい♪皆さんからけこう聞く感想が「ここに住みたい！」だったから、びびばんのこだわりを本能的に感じ取ってくれてるみたいです。これからも「ばんだろぼはうす」をよろしく願います。今年はイベント頑張ったけど、来年はまた、ぱんだグッズ作るぞ〜！



「ろぼはうす」に沢山のひとが遊びにきてくれたよ♪

〜おわりに〜

今年はびびばんにとって初めていっぱい挑戦の年だったので、最後まで走り切る為、アドベントカレンダーも書いてみることにしました。会社員デザイナーをやっていると、正直自分が100%好きなものは作れないのです。顧客の要望、上司や現場の意向、予算、納期などなどこれらが優先事項になるので、びびばんの「好き」はそこまで優先順位が高くない。(もちろんプロとして納得いくクオリティは出します！)だから、上記のことをいっさい考えず「好き」「作りたい」って気持ちを思い切りぶつけて夢中で作業をした今年のGWはとても楽しくて何にも代えがたい経験になりました。いや〜寝不足でGW明け使い物になんなかったけど本当にスカっとしたー！仕事でデザインしていると「私じゃなくてもいいのでは？」とか「デザイナーって名乗っていいのかな？」って思うこともある。でも、clusterでびびばんの「好き」と「作りたい」気持ちを詰め込んだ作品たちを、みんなが楽しんで喜んで使ってくれて、遊んでくれて、かわいって言うってくれるので、びびばんは自信をもってお仕事していけます。みんないつもありがとう。これからもかわいいものを作ります。最後まで読んでくださってありがとうございました。

